

## 令和6年度 日之影町立宮水小学校 学校評価

○「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。

4：期待以上 3：期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善が必要

○「評価者」…「第一次」：学校による自己評価、「第二次」：保護者評価、「第三次」：学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第一次	第二次	第三次
学力の向上	1 学習の基盤となる学習態度等の指導を日常的に徹底し、基本的な学習習慣の確立を図る。	チャイム黙想や立腰指導を継続して行うことで、落ち着いた態度で授業を開始することができた。家庭学習も保護者の協力を得ながら取り組むことができている。	3	3	3
	2 I C Tを効果的に活用した授業の工夫に取り組み、家庭でのタブレットを利用した学習指導を行う。	継続して授業等で積極的に I C Tを日常的に活用し、思考ツールとしての児童のスキルも向上が見られた。タブレットを活用した家庭学習については課題がある。	3	2	3
	3 基礎学力の定着のために、授業改善やモジュール等での指導の充実を図る。	基礎的・基本的な知識や技能については概ね身に付いている。だれも取り残さない教育のために、教育課程の見直し、授業改善に取り組む必要がある。	3	3	3
	4 読書活動の充実を図るために、町の図書活動推進員や学校図書館等を積極的に活用する。	図書活動推進員の活用や地域ボランティアによる読み聞かせ活動、家庭と連携した読書推進等により、充実した取組ができた。教科指導と関連した指導も推進を一層図っていきたい。	3	3	3
豊かな心の育成	1 児童会活動や学校行事の教育活動を通して主体的に行動できる力を育成する。	運営委員会を中心とした全校話合いや、学校のキャラクター制作、各種行事等への取組を通して児童が主体的に行動できる場の設定に努め、達成感や自己肯定感を高めることにつながった。	3	3	3
	2 日常の指導を充実させ、基本的な生活習慣の確立を図る。あいさつ(会釈)、無言掃除、廊下歩行、靴の整頓	月目標と関連させ、基本的な生活習慣の定着を図るために指導を重点的に行うことで、自分からあいさつをしたり靴を並べたりすることができるようになってきている。	3	3	3
	3 学級経営や教育相談の充実を通して、望ましい人間関係の醸成を図る。(いじめ・不登校への対応)	定期的な心のアンケート・教育相談を実施したり、スクール・カウンセラーの活用を図ったりすることにより児童の不安やトラブルの早期発見につながった。	3	3	3
	4 いのちを大切にする教育の充実を図り、豊かな心を育む。	いのちの教育週間に合わせて参観授業を設定し、発達段階に応じた「命の授業」に親子で参加することで、授業だけでなく家庭においてもいのちの大切さについて考える機会を提供することができた。	3	3	3
すこやかな体の育成	1 日常的に立腰指導の徹底を図り、正しい姿勢の習慣化を図る。	授業開始終了での立腰は概ねできているが、話を聞いたり文字を書いたりする場面での姿勢には課題が残る。日常指導、家庭との連携など意識を高める指導に継続して取り組んでいく。	3	3	3
	2 体力向上プランを基に、体育科授業及び意図的・計画的な体育タイムの充実を通して、体力の向上を図る。	体育科の授業を中心に発達段階に応じた運動を行うとともに、体育的行事と関連させた体育タイムで、持久走やなわとび運動に取り組んだ。	3	3	3
	3 養護教諭と連携した授業及び日常指導等を行うとともに、家庭と連携し健康的な生活習慣の確立を図る。	児童の健康に対する意識を向上させるため、養護教諭が計画的に授業を提案し、担任と連携して取り組んだ。また、学校保健委員会を活用し、保護者と連携した生活指導を行うことができた。	4	3	3
	4 栄養教諭と連携した授業及び日常指導等を行うとともに、家庭と連携し望ましい食習慣の確立を図る。	食育の授業や給食指導等に栄養教諭が積極的に関わり、児童の食についての意識を高めることができた。地産地消給食の立案や給食だよりの発行、給食試食会等を実施し、保護者へ食育の啓発を図った。	4	3	3
家庭・地域との連携・協働	1 めざす児童像や各月の重点指導目標を家庭と共有し、連携した取組で目標達成を目指す。	PTA総会や学校通信、学校HP等で児童像や重点目標を保護者に知らせ、重点目標に関する各種週間を設定することで、重点努力事項について家庭と連携して取り組むことができた。	3	3	3
	2 地域の教育資源を活用した学習の充実を図る。(地域学校協働活動推進員との連携)	地域学校協働活動推進員と連携し、多様な学校の教育活動に地域資源を活用することができた。運動会の表現や山びこトークの講師派遣も依頼し、教育活動の充実を図った。	3	3	3
	3 家庭の教育力を向上させるため、参観日の内容や取組を創意工夫する。	家庭の教育力向上を目指して、命の教育週間と関連付けた参観授業や、学校保健委員会と連携した保護者参加型の授業参観を企画し、多くの保護者の参加があった。	3	4	3
	4 学校ホームページや学校通信等により、積極的に情報発信を行う。	定期的な学校通信や学級通信の発行、毎日のホームページの更新により、積極的に学校の様子を地域、家庭に発信することができた。保護者の学校の教育活動への関心・理解も高く今後も継続していきたい。	4	3	3